



## フラワーアート専用の照明器具用に、高演色有機 EL 照明パネルを納入



Lumiotec (ルミオテック) 株式会社 (社長:重永久夫、本社:山形県米沢市) は、東信、花樹研究所 (AMKK、代表:東信、本社:東京都港区) のフラワーアート専用照明器具用に、世界最高レベルの演色性を実現した Lumiotec の有機 EL 照明パネル (P06 シリーズ) を納入した。フラワーアートの分野で有機 EL 照明パネルが採用されるのは今回が世界で初めて。(注 1)

AMKK は世界で活躍するフラワーアーティストの東信氏と、ボタニカルフォトグラファーの椎木俊介氏を中心にした、植物を題材としたアート活動を展開するクリエイティブ集団。これまで既存の照明器具を用いた際の花の劣化防止や花本来の色再現に苦労を重ねてきたが、Lumiotec が生産・販売する有機 EL 照明パネル P06 シリーズを採用することにより、これらの難問をクリアした。

具体的には、同シリーズは紫外線・赤外線が発生がなく、発熱も 8℃以下と極めて少ないため、間近で照射をしても、花を劣化させることができない。また、世界最高レベルの演色性を実現して、花本来の色再現を実現する。今回の採用はこれらの優れた特性が高く評価されたほか、極薄・軽量で、設置が容易でスペースも取らず、照明器具の簡素化により照射位置の変更が容易に行える利点も、その採用を後押しした。

AMKK で稼働を開始した Lumiotec 製 P06 シリーズは、145 mm 角有機 EL 照明パネルを 5 枚ずつ 3 列に合計 15 枚を平面状に配置したもので、パネルの光量を調節したり、位置変更機構により照射位置を変えることにより、花の微妙な色合いの違いまで表現することができる。なお、照明器具及び位置変更機構の製作は、株式会社レスト (本社:茨城県守谷市) が行った。

有機 EL パネルは、面発光で極薄・軽量であることや、紫外線を含まず均一でムラのない柔らかい光を実現できること、さらに水銀など有害物を含まず、省エネ化による CO<sub>2</sub> の削減効果が見込めるなど、白熱電球、蛍光灯などの従来型光源にない優れた特長を持ち、次世代の照明用光源として期待されている。

### 有機 EL 照明の導入によるメリット

- 紫外線・赤外線を含まず、発熱も 8℃以下と少ないため花を傷めない
- 色の再現性が極めてすぐれているため、花の色を鮮やかに表現する
- 面発光で、均一でムラのない柔らかいあかりが、花本来の姿を浮き彫りにする
- 薄くて軽く、照明器具を簡素化できる
- 撮影に必要な面光源を容易に実現できる
- 調光機能により、微妙な花の表情の違いを表現できる

【Lumiotec】三菱重工業、ローム、凸版印刷などが出資して 2008 年 5 月に発足した世界初の照明用有機 EL パネルの専門会社。これまでトレードオフの関係にあるとされてきた、高輝度化と長寿命化を両立させる素子構造の開発や、材料の利用効率を格段に高めた高速の大型リニア蒸発源式インライン成膜装置の実現などを受け、米沢市に量産ラインを構築、2011 年 1 月から世界に先駆けて照明用有機 EL パネルの量産出荷を行っている。(http://www.lumiotech.com)

【AMKK】フラワーアーティスト 東信 (あずままこと) の主宰による、花・植物を題材とした実験的なクリエイションを展開する植物集団。東京・南青山を拠点に、植物をキーワードとして様々な分野で幅広く活動を展開中。その活動は植物のみが有している姿を美的なレベルで表現することで、その存在価値を高めることに一貫し続けている。(http://www.azumamakoto.com)

(注 1) Lumiotec 調べ

### 【問合せ先】

Lumiotec株式会社東京事務所

TEL : 03-5418-6035 / E-mail : lumiotech\_info@lumiotech.com

以上